

令和5年度 文学部 和食文化学科 学校推薦型選抜 小論文 出題意図・採点基準

【出題意図】

1

食の文化に対する幅広い関心を持つことや、和食文化学に取り組む積極的な姿勢を見るため、神話や物語における栄養摂取だけではない食の役割を論じるテキストを取り上げた。歴史や文化とともに社会の現実を客観的に捉えるとともに、それらを自身の経験や感覚に照らし合わせて、新たな課題意識をもち、探究しようとする姿勢を問う問題である。

2

発酵食品への関心が高まっている。日本では、日本独特のものと思われがちであるが、実は広い国際的な動向の一つである。和食文化には長い発酵の歴史があり、また現代的な応用のレパートリーも豊富である。近年盛んになっている発酵食品ムーブメントでは、発酵を単なる食品の保存方法としてではなく、現代のフードシステムや人間と自然の関係を再考する出発点として位置づけている。これらのことを把握して、ダイナミックな国際的文脈の中で和食文化を理解できるかどうかを問う問題である。

【採点基準】

1、2ともに、個々の知識の多寡を問うことなく、和食文化を探究する上で必要となる豊かな想像力や発想力、思考力を、小論文を通じて見る。